



# 生活クラブ風車



# 夢風News

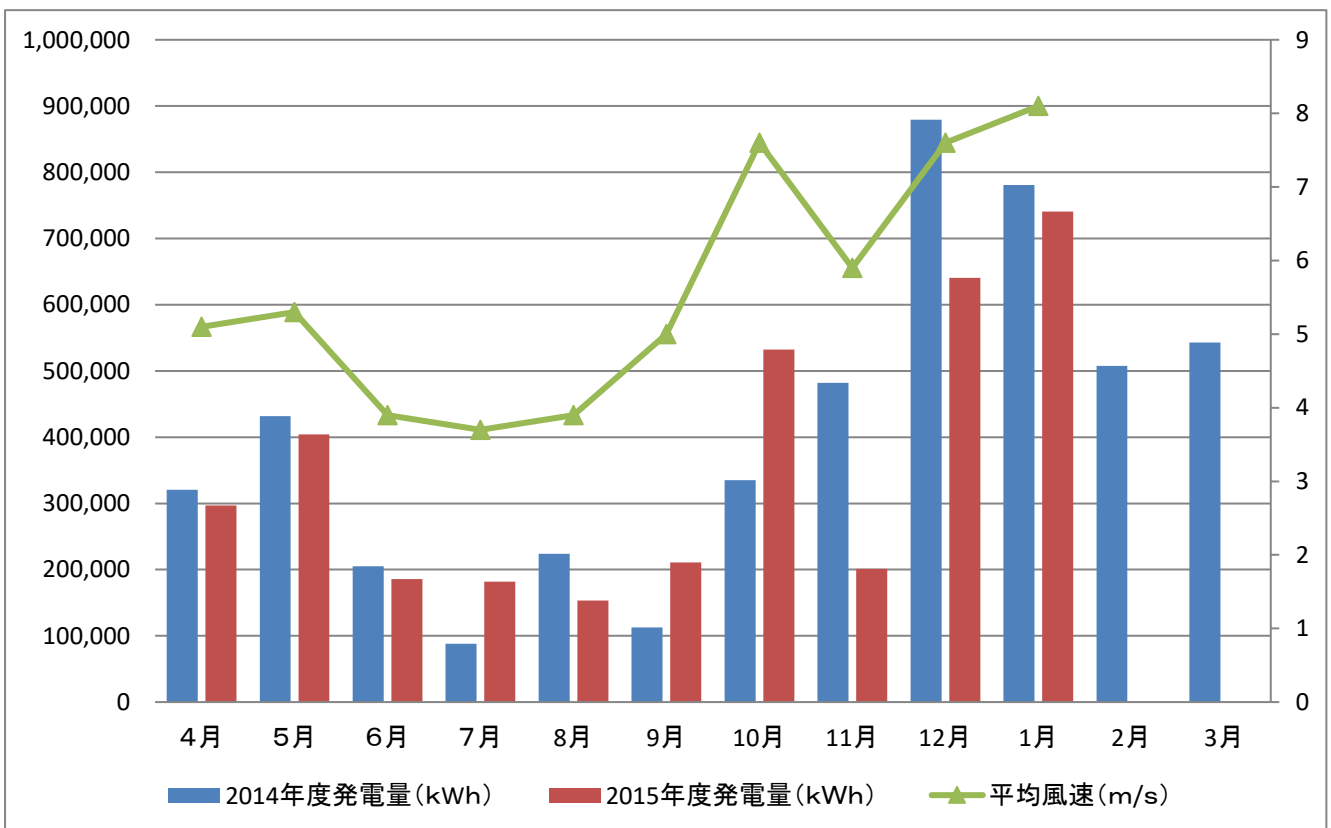
Vol.44

●発行 2016. 2. 15 一般社団法人グリーンファンド秋田

●発行責任者 半澤彰浩（代表理事） ●編集責任者 鈴木伸予

## ■ 2015年度 発電実績 ■

|    | 発電量 (kWh)<br>【前年比】 | 平均風速<br>(m/s) | 設備利用率<br>(%) |     | 発電量 (kWh)<br>【前年比】 | 平均風速<br>(m/s) | 設備利用率<br>(%) |
|----|--------------------|---------------|--------------|-----|--------------------|---------------|--------------|
| 4月 | 296,695【92.6%】     | 5.1           | 20.7         | 10月 | 532,473【158.8%】    | 7.6           | 36.0         |
| 5月 | 404,165【93.7%】     | 5.3           | 27.3         | 11月 | 201,178【41.8%】     | 5.9           | 14.0         |
| 6月 | 185,870【90.7%】     | 3.9           | 13.0         | 12月 | 640,502【72.8%】     | 7.6           | 43.3         |
| 7月 | 181,669【206.7%】    | 3.7           | 12.3         | 1月  | 740,479【94.9%】     | 8.1           | 50.0         |
| 8月 | 153,120【68.4%】     | 3.9           | 10.3         | 2月  |                    |               |              |
| 9月 | 210,921【187.2%】    | 5.0           | 14.7         | 3月  |                    |               |              |



- 1月も、先月に引き続き、風況としては前年に比べて低くなり、発電量も下がっています。
- 東北電力㈱からの解列要請が1日ありました。

## ■グリーンファンド秋田 2015 年度第 4 回理事会報告

2016 年 2 月 16 日、第 8 期第 4 回グリーンファンド秋田の理事会を行いました。

○2015 年度の第 3 四半期決算は、発電量 1,374,153 k Wh で前年比 81%の実績となり、売電収入は計画比 85%となりました。風況が弱かった事と、パワコンの故障による運転停止がおもな要因です。

○にかほ市との交流企画のまとめと 2016 年度予算案について承認しました。また、夢風ブランド開発活動のまとめと 2016 年度予算案について承認しました。

○生活クラブ風車「夢風」の㈱生活クラブエナジーへの需給契約切り替えを承認しました。

○グリーンファンド秋田・東京事務所の移転について承認しました。

○その他、各単協でのにかほの物産の取組、芹田営農組合との協議、夢風ブランド開発生産者連絡会、にかほ市と生活クラブとの連携推進協議会幹事会などの報告を行いました。

## ■夢風ブランド開発活動発表会 開催報告



半澤専務理事

にかほ市と生活クラブとの連携推進協議会主催による「夢風ブランド開発活動連絡会」が、2016 年 2 月 6 日(土)10:20~12:15 に世田谷区経堂の生活クラブ東京・生活クラブ館スペースにて約 60 名の参加で開催されました。

まず、主催者を代表して生活クラブ神奈川専務理事の半澤彰浩さんより開会の挨拶を頂きました。次に、来賓として、にかほ市総務部部長の齊藤均さん、夢風ブランド開発生産者連絡会会長の三浦悦朗さんよりご挨拶を頂きました。



三浦会長



にかほっぺんと齊藤部長

### ○一部 基調講演

法政大学人間環境学部教授西城戸誠さんより「夢風ブランド開発活動の評価と価値」というテーマでお話を頂きました。西城戸先生は、夢風建設よりずっと生活クラブ風車の運動に社会学者の立場から関わってこられました。講演では、再生可能エネルギーにも長所と短所があり、地域の「社会的受容性」を考慮する必要があること。にかほ市と生活クラブとの交流の中でにかほの住民の変化があり、交流から生まれる地元住民の信頼と受容性が高まったこと。夢風ブランドの構築プロセスそのものが、かけがいのない物語になるはずという事。そして、交流の中にある「学習」=自分たちで考える大切さが組合員にも生産者にとっても大事なキイであるという事を改めて確認しました。



## ○二部 夢風ブランド活動発表会



＜生活クラブ東京と伊藤製麺所・伊藤実＞  
 環境政策委員会メンバーと伊藤さんが活動発表。  
 8月の組合員リーダーツアー、9月に工場視察と4種類のスープの試食からタラーメンの醤油味を新たに開発する事に決定。  
 組合員の意見で中華麺のかんすいを生活クラブ仕様にし、クチナシ色素も半量に減らしました。  
 スープもアミノ酸を加えないものへ変更しました。  
 現在、開発中です。

### ＜夢風ブランド企画＞ 日南工業株式会社+生活クラブ千葉

・企画検討品: 鱈しよつる「うわてん」とは…

醤油のルーツ「醤(ひしお)」 塩漬(け)発酵食品

秋田のしよつる(通常はハタハタ)

冬のかほの風物詩「鱈」 旨み成分グルタミン酸が豊富

高級魚の未利用魚を活用 臭みが少ない

にかほ発の Only one 調味料

◆いろんな料理が上手(うわて)になる！  
 ◆いろんな料理の上から点して(たらし)てみてください



＜生活クラブ千葉と日南工業(株)・服部進一＞  
 環境委員会メンバーと服部さんが活動発表。  
 5月の学習会、7月の工場視察を経て、組合員アンケートを実施。デポフェアではしよつるを聞いたことはある、食べた事がある人が多い事、においが気になる人は0人でした。  
 今後の開発に向けて打合せ中です。



＜生活クラブ埼玉と佐藤勘六商店・佐藤玲＞  
 夢風ブランド開発PJ実行委員メンバーと佐藤さんが発表。  
 6月にいちじくの学習会。ホワイトゼノア種の甘露煮を試食。ジャム、ソフトドライいちじく、いちじくピューレ、いちじくチップスなど様々なアイデアから供給可能なものを検討。10月に現地のいちじく畑と甘露煮工場を視察。食べ方提案などもすすめています。  
 今後の開発に向けて検討中です。

＜生活クラブ神奈川と(株)飛良泉本舗・斉藤雅人、  
 (株)岡永・立田清嗣＞

環境政策委員会メンバーと斉藤社長、立田さんが発表。  
 5月に神奈川で利き酒、6月に飛良泉の酒米圃場見学と夢風酒の仕込みについて協議。にかほ市産の秋田酒こまちを使った純米大吟醸に決定。12月にしぼりたて原酒の試飲。飛良泉としても岡永にしても初での取組ちなる、組合員が開発した生活クラブオリジナルの「純米大吟醸夢風」が完成。



生活クラブ神奈川 環境政策委員会



## ○三部 試食交流会



東京は、開発中のタラーメン醤油味の試食。しょつつる臭さがなく、たいへん美味しいと好評でした！

千葉は、鱈しょつつるの「うわてん」を使ったメニューで、組合員にも好評だった炊き込みご飯を試食。うわてんがちょうど良いこくと塩梅で、簡単なのも良いと好評でした。

埼玉は、いちじくパイ、甘露煮の生ハム巻き、パウンドケーキ（甘露煮シロップ入り生クリーム）、甘露煮シロップのしょうが入りほっとドリンクと豪華な試食（写真）で、どれも美味しいと好評でした！

神奈川は、夢風ブランドの純米大吟醸「夢風」を首都圏の組合員にお披露目しました。香が豊かで少し辛口で女性に飲みやすいと好評でした！

※発表会では参加者全員でうたも披露しました。

…夢風のうた♪♪…

（ザブームの「風になりたい」のメロディーで）

大きなハネひろげ みんなの夢のせて  
荒れ吹く雪にもまけず いつでも風をおくろう  
原発じゃなくても 原油がこなくても  
夢風まわる幸せ 感じて風をおくろう

## ■ 夢風ブランド開発チラシを発行して組合員にアピール



生活クラブはサステイナブル（持続可能な）再生可能エネルギーへのシフトをめざし、その第一歩として2012年3月に秋田県にかほ市に風車「夢風」を建設しました。夢風ブランドは、風車をきっかけに、にかほ市と生活クラブが共同で作った生活クラブオリジナルブランドです。組合員が夢風ブランド開発に関わり、にかほ市の生産者と交流する事で、お互いの関係を深めていくことを目指しています。

夢風ブランド開発品は、首都圏の東京・神奈川・埼玉・千葉生活クラブの単協独自品として取り組みます。第1弾は、榊飛良泉本舗と開発した日本酒「純米大吟醸・夢風」です。組合員へは、2016年3月申込み、4月供給となります。夢風ブランド開発に合わせて、首都圏4単協の生活クラブと、グリーンファンド秋田、にかほ市と生活クラブとの連携推進協議会広報費を活用して組合員17万人に向けたチラシを発行します。